【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成22年8月19日(2010.8.19)

【公開番号】特開2009-108932(P2009-108932A)
【公開日】平成21年5月21日(2009.5.21)
【年通号数】公開・登録公報2009-020
【出願番号】特願2007-282182(P2007-282182)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｄ　48/02　　(2006.01)
Ｆ１６Ｄ　25/0638　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｄ　25/14　　６４０Ａ
Ｆ１６Ｄ　25/14　　６４０Ｋ
Ｆ１６Ｄ　25/063　　Ｋ

【手続補正書】
【提出日】平成22年7月1日(2010.7.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
従来、エンジンと駆動輪との間の動力伝達経路中に設けられて外部からの供給油圧により接続状態となる油圧式のクラッチを備える車両のクラッチ制御装置において、前記クラッチを徐々に接続状態とするべく、該クラッチへの供給油圧を制御するソレノイドバルブにパルス状の駆動電流を供給するものがある（例えば、特許文献１，２参照。）。
【特許文献１】特開昭５９－２１９５４９号公報
【特許文献２】実開昭６３－１６１０３６号公報
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８２】
【図１】この発明の実施例における自動二輪車の右側面図である。
【図２】上記自動二輪車のエンジンの右側面図である。
【図３】上記自動二輪車のツインクラッチ式変速制御システムの構成図である。
【図４】上記自動二輪車のツインクラッチ式変速機の断面図である。
【図５】上記ツインクラッチ式変速機を作動させるチェンジ機構の断面図である。
【図６】上記ツインクラッチ式変速制御システムにおけるスロットル開度、スロットル開速度、クラッチアクチュエータ制御電流、クラッチ制御油圧、及びクラッチ接続フラグの時間変化を示すグラフである。
【図７】前記クラッチアクチュエータ制御電流のスロットル開速度に対する変化を示すグラフである。